

経済産業省 平成17年度 起業家教育促進事業

実施報告書

2006年3月
株式会社 エ・ム・ズ

1	事業(目的、背景)	3
◆	事業名	3
◆	事業目的	3
◆	事業目標	3
2	実施概要	3
◆	プログラム名	3
◆	実施対象	3
◆	実施実績	4
3	授業実施までの流れ	6
4	実施内容	7
◆	ドリームマップ概要	7
◆	ドリームマップで目指す効果と狙い	7
◆	タイムスケジュール	8
◆	ドリームマップメインファシリテーターの特徴	9
◆	メインファシリテーター・およびアシスタントが心がけた注意点	9
5	実施結果	10
◆	子供たちからの感想	10
◆	ドリームマップの活用案	15
6	授業風景写真	16
7	授業風景写真	17
8	子どもたちの夢	18
9	事業の反響	20
◆	【新聞】	20
◆	【TV】	20
10	今後の課題	21
◆	事前準備の統一について	21
◆	実施日数について	22
11	教員向け研修	24
◆	実施概要	24
◆	実施実績	24
12	教員向け研修写真	25
◆	先生方からの感想	26
◆	教員研修について所感と課題	28
13	ドリームマップ書籍出版について	29
14	所感とまとめ	30

1 事業(目的、背景)

◆ 事業名

経済産業省 平成 17 年度「起業家教育促進事業」

委託者：経済産業省

受託者：株式会社 エ・ム・ズ

◆ 事業目的

将来、起業家精神に溢れた人材が育成・輩出される教育機会が得られるよう、小中高等学校の教育現場に対して起業家教育の普及・定着を図ることは重要である。

本事業では、自治体や教育現場に対して、通常の授業内で実施可能な「起業家教育プログラム」によるモデル授業を実施し、当該自治体への起業家教育への理解・定着を図るとともに、周辺自治体及び全国の自治体への反響・波及効果を得ることを目的としている。

◆ 事業目標

日本中の多くの若者が「起業家マインド」に溢れ、それが日本経済社会の活力の源泉となっていること

2 実施概要

◆ プログラム名

「夢を描く力・夢を信じる力・夢を伝える力を育む教育プログラム - ドリームマップ - 」

◆ 実施対象

地域：秋田県秋田市・岩手県花巻市・宮城県仙台市・山形県米沢市・福島県会津若松市・愛知県・愛知県蟹江町・愛知県瀬戸市・三重県津市立・大阪府和泉市・愛媛県西条市・香川県宇多津町

学年：小学 4・5・6 年生

中学 1・2・3 年生

高校 2 年生

◆ 実施実績
【自治体別集計表】

自治体名	小学校			中学校			高校		
	人数	クラス数	学校数	人数	クラス数	学校数	人数	クラス数	学校数
秋田県秋田市	91	3	1						
岩手県花巻市	37	1	1	86	3	1			
宮城県仙台市	52	2	1						
山形県米沢市				171	6	1			
福島県会津若松市	100	4	1						
愛知県							134	4	1
愛知県蟹江町	88	3	1						
愛知県瀬戸市	608	18	9	234	7	2			
三重県津市	316	11	6	266	8	2			
大阪府和泉市	222	7	2	567	15	1			
愛媛県西条市	55	2	1						
香川県宇多津町	146	5	2						
合計	1,715	56	25	1,324	39	7	134	4	1

【実施学校名】

	学校名	学年	クラス数	人数	
高校	愛知県立緑丘商業高等学校	3	4	134	
中学校	花巻市立矢沢中学校	3	3	86	
		米沢市立南原中学校	1	2	57
			2	2	53
	3		2	61	
	瀬戸市立品野中学校	2	3	91	
	瀬戸市立水野中学校	2	4	143	
	津市立東橋内中学校	2	2	36	
	津市立西郊中学校	2	6	230	
	和泉市立石尾中学校	1	5	190	
		2	5	192	
3		5	185		
小学校	花巻市立湯口小学校	6	1	37	
	秋田市立築山小学校	6	3	91	
	会津若松市立城北小学校	6	4	100	

蟹江町立新蟹江小学校	5	3	88
瀬戸市立祖母懐小学校	5	1	25
瀬戸市立效範小学校	6	3	106
瀬戸市立東明小学校	6	1	28
瀬戸市立幡山東小学校	5	3	87
瀬戸市立幡山西小学校	6	3	117
瀬戸市立品野台小学校	6	1	32
瀬戸市立原山小学校	6	2	77
瀬戸市立八幡小学校	6	2	68
津市立新町小学校	5	2	77
津市立北立誠小学校	6	2	43
津市立高野尾小学校	6	1	14
津市立安東小学校	6	1	25
津市立櫛形小学校	5	1	18
津市立南立誠小学校	6	2	64
津市立南立誠小学校	4	2	75
和泉市立伯太小学校	6	3	90
和泉市立鶴山台南小学校	5	2	69
	6	2	63
宇多津町立宇多津小学校	6	2	51
宇多津町立宇多津北小学校	6	3	95
西条市立丹原小学校	6	2	55
仙台市立太白小学校	5	2	52
瀬戸市立西陵小学校	6	2	68
合 計		99	3173

3 授業実施までの流れ

1. 電話にて打合せ

日程・人数・カリキュラムの詳細・事前準備について

2. 教材発送

ドリームマップワークブック（参加人数分）

フレームシート一式

ドリームマップサンプル（2種類×クラス数）

だまし絵 2時限にて使用

紙芝居 進行内容説明および振り返り時に使用

3. 授業当日

講師到着（約30分前）

授業実施

アンケート調査（参加児童・生徒 および 先生）

終了

4 実施内容

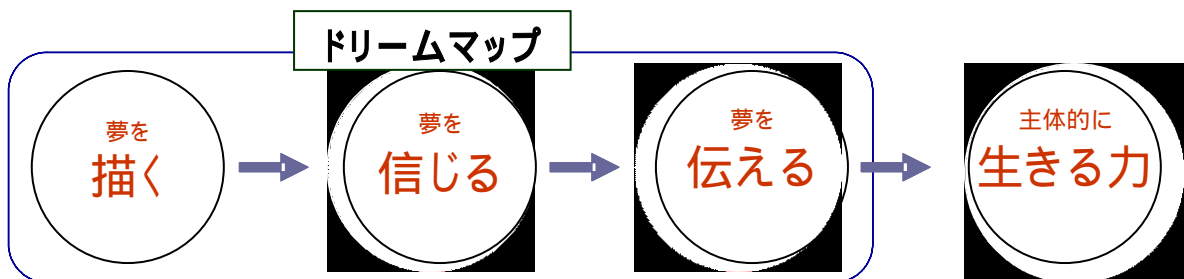
◆ ドリームマップ概要

ドリームマップは、「夢（ビジョン）を描く力」「夢（ビジョン）を信じる力」「夢（ビジョン）を伝える力」を育むことを目的とした教育プログラムである。

人は夢（ゴール）を設定し、それが実現した状況をリアルに想像できると、その実現に向けポジティブかつ主体的に行動できる。

ドリームマッププログラムでは、将来の「なりたい自分像」を明確にイメージ&ビジュアル化し、広く周囲に公言し、その認知・受容を得ることにより、子どもたち一人一人が自己に対するイメージをプラスに変化させ、その実現に向けた発展的行動を起こすことを狙いとする。

一度でもこのことを体験することによって生まれた確かな「力」は、たとえ、将来その夢（ゴール）が変わることがあっても、対応し、応用することが可能である。



◆ ドリームマップで目指す効果と狙い

自己に対するイメージがプラスに変化する

自分の将来に対し前向き、積極的になる

具体的に夢（ゴール）を設定できる

その実現に向け行動する

将来の職業や就業を真剣に考える

将来の職業選択に大きくプラスとなる

自己や他者への受容力や理解力が増す

他者の夢を応援する姿勢を持つ

自己の価値や意義を強く意識する

社会性や公益性を持つ

コミュニケーション能力が高まる

人間関係が円滑になる

プレゼンテーション能力が高まる

自己表現における自信がつく

◆ タイムスケジュール

時限	実施内容	リードポイント	展開の有効性と
1時限	アイスブレイク ・1日の実施内容とじゃんけんゲーム ・自己分析 目標 行動の大切さ 自己分析&ポジティブ・シンキング ・自分の”好き”を見つける ・自分のセルフイメージの書き出しと分析 ・ポジティブ・シンキング	・積極性 ・好奇心 ・プラスの緊張感 ・分析力 ・自己受容	・自由な発想を促す環境作りを行なう ・目標達成に必要な自己分析・目標・行動の関係性を把握し自己対話への準備をする
2時限	自己対話・双方向コミュニケーションの実践 ・職業探しゲーム ・なりきりインタビュー(自己表現と傾聴の練習) ・各自発表 夢をイメージする ・やりたい仕事と起業 ・成功イメージの創造(社会や周囲の人への影響を考える)	・未来想像力 ・論理的思考 ・経聴力	・他者受容を促し「話を聴く力」を育む ・自分の夢のイメージを描きドリームマップの作成準備時間とする
3時限	ゴール設定&描画 ・ドリームマップ作成・講演メモ作成 ドリームマップはクレヨンかカラーペンを使用 ファシリテーターは机間巡視をして、声かけを積極的に行なう	・自己受容・肯定感 自信 ・他者受容・肯定感 優しさ	・夢を描く作業の際には幸福感・自己肯定感が必要。それら2つを身に付けられるようなサポートを行なう
4時限	ドリームマップ作成	・自主性 ・想像力 ・思考力 ・決断力 ・人生設計能力	・5限に必要な未来に対する期待感を持たせ、また発言内容のビジュアル化・有形化を行なう
5時限	発表 ・成功記者会見 ・八行で傾聴 ・各グループでの内容をクラス発表	・自己表現力 ・他者理解 ・プレゼンテーション能力	・4限で得た未来への期待感をクラス全体で共有する ・コミットメント(約束・宣言)する、という難易度の高い自己表現の経験を持たせる
6時限	まとめ ・全体発表(今日の授業の感想) 「私は今日から を始めます。」 自己分析 目標 行動の大切さ ・まとめ ・アンケート	・気付きの定着 ・発展的継続性 ・経験の応用能力 行動力	今日一日の体験を未来に活かせる経験へと変えるためにプログラムを俯瞰し各々の発展的継続性を促す

◆ ドリームマップメインファシリテーターの特徴

コーチングプログラムを修了した会社役員か個人事業者（起業経験者）が務め、児童・生徒の職業に対する意志を顕在化し、あわせて、自らの経営、起業経験、就業経験を子どもたちに伝える。

◆ メインファシリテーター・およびアシスタントが心がけた注意点

参加児童・生徒が、できるかぎり自己開示をするよう促すため、対話時以下の点を徹底する。

参加者の発言を妨げたり否定しない。

参加意識の低い参加者に積極的に話しかけ、信頼関係を築くよう努力する。

各自が将来像を想像しやすくする為、多くの例題を提示し、イメージを具体化する質問を多く投げかける。

5 実施結果

◆ 子供たちからの感想

ドリームマップ授業実施結果として、主たる感想を以下に記す。
(ドリームマップワークブック・振り返りシートより)

Q.自分の夢を話してみてどんな気持ちでしたか？

【小学生】

- 始めは「言いたくないな」と思ったが、言ったらすっきりした。
- みんなに夢を語ったので、その夢を実現させたい。
- 本当に僕がプロ野球選手みたいでとてもわくわくした気持ちになった。
- いろんな興味を持ったし、応援したいと思った。
- みんなに話して知ってもらったから、何年後かにみんなであった時には夢が叶っているようにしたい。
- ものすごくドキドキして顔が熱くなったけど話してみたらすごくすっきりした。
- 夢を話したら、なんか叶いそうな気がした。自分が小さかったのが大きく見えた。
- とても清々しい感じがした。
- もっと看護師になろうという気持ちになった。
- 夢に一步近づけたと思った。
- もっと夢がふくらんだ感じ。もっと夢に近づきたいという気持ち。
- 自信がついた。小さかった自分が大きくなった。
- やっぱり夢はいいなと改めて実感しました。
- すごく楽しかったです。叶いそうです。
- みんなに話すとその夢と自分が大きく感じました。
- 前よりもっともっと夢を叶えたいと思った。
- 夢のために今からどういうことをすればいいのかわかってきた。
- 絶対なってやるという気持ちが湧いてきた。
- 夢が叶った時に、いろんな人が応援してくれるといいなと思いました。
- 夢を本当に実現させたいと思った。
- 自分の夢を主張できて良かった。
- もっと自分の夢について話したいなという気持ちになった。
- みんなの前ではちがう夢を言ったけど、やっぱり自分が本当にめざしていることを書くのがいいと思った。
- 自分の夢はこれなんだなと思った。
- どんどん夢を膨らませていって本当に叶ったようでした。
- この地図を頼りに人生の道を進めそうな自信がついた。

【中学生】

- すっきりしたし、自分の夢のこともしっかり考えられたので良かった。
- この夢に向かってまわり道もあるかもしれないけど頑張りたい。
- 改めて自分がどんなに看護婦になりたいかが分かった。絶対叶えようと思った。
- 緊張したけど、夢をもっと叶えたいと思った。
- みんなに話してみて、よりいっそうゲームクリエイターについて興味を持った。
- この授業で本気で夢を叶えたいという気持ちになった。
- 自分の夢を実現したいという気持ちが高まった。
- 口に出したことで、さらに叶えたくまりました。
- 中途半端だった自分の夢をはっきりすることができて嬉しかった。
- 詳しく夢が決まっていなかったのも、もっと自分の未来を見なければいけないと思った。
- 人前で話すことは慣れているのですが、自分の夢を発表することなんてめったにないので、とても良い機会を得ることができました。
- みんな恥ずかしがって言わないだけで、ちゃんと考えているんだと思いました。
- 漫画家なんてなれないと言われるかと思ったけど、聞いてもらえてよかった。
- 夢ってぶっちゃけていいんだと思えた。
- 夢は自分ひとりの中で秘密にしておきたかった。でも楽しかった。
- 夢を人に話すとなんだか勇気が湧いて来た。
- 発表した後は達成感があって良かった。
- 言葉にしてみんなに話すと、実現したい！という気持ちが強くなった。
- 「宣言したからには保育士にならなきゃ」と思った。
- 人に自分の夢を教えるのは嫌だったけど、話してみて嫌じゃなかった。
- やっていくうちにできると思えば出来るんじゃないかと思えるようになりました。
- 自分の将来をきちんと言えて、とても気持ちがよかった。

【高校生】

- 少しあまいだったけど、作ってみてはっきりした。
- 夢を話すことは思っているよりも楽しい。
- もっと熱く語りたくなった。
- 夢は夢で終らせたくない。
- もっと自分のことを知ってもらいたいと思った。
- 自分自身がこうなりたいと思っていることなので自然に言えた。
- 絶対になってみせます。
- 発表には満足したけど、満足する結果がでるように頑張りたい。
- 好きなことを話しているうちにもっと話したくなってきた。
- いつもの発表よりも堂々とできたんじゃないかと思う。
- 自分の意見をはっきり言うことが大切だと思った。
- 話した事によって、自分はこうなりたいんだって思えた。

Q.お友達の話を聞いてどんな気持ちでしたか？

【小学生】

- みんなそれぞれ違った夢を持っていて「すごいな」と思った。「がんばれ」という気持ちになった。
- 自分の夢をもっているの的にそれを説明している。
- 発表を聞いて、看護師の大切さを知った。
- ユニークな発表で、協力してあげたい気持ちです。
- 応援してあげたい気持ち。
- 同じ仕事につきたい人に負けないくらい頑張りたい。
- みんなが実現するためにしていることを参考にもしてみたい。
- みんな成功して欲しいと思った。
- みんな良い夢を持っているなと思った。
- すごく良い夢を持った方がいっぱいいた。
- みんな一人ひとりの夢は輝いていた。
- きちんと夢を持っていてかっこいいと思った。
- 一人ひとり個性があって面白かったです。
- みんなが自分の夢に向かってどんどん進んでいっていることに驚いた。

【中学生】

- 普段あまり話さない子がどんなことがしたいのかわかってよかった。
- みんなも自分の夢をかなえてほしいと思った。
- みんなが一人ひとりきちんと夢をもっていることを知れてよかった。
- 友達の夢を聞いて、頑張れと言いたくなった。
- 自分と同じような夢を持つ人の発表を聞いて、益々自分の夢がふくらんだ。
- 全く知らないような夢とかがあり、面白く聞いた。 みんな一人ひとり夢があって素晴らしいと思った。
- みんないろいろなことをすごい真剣に考えていてすごいなという気持ちになった。
- 皆、夢がはっきりしていて、負けたくないと思いました。
- 自分は小さなことだけしか書いてなかったので、悔しかった。
- 絶対に応援したい。
- 私も早く本当の夢ができるといいなと思った。
- 将来を考えている人といない人とわかれてびっくりした。
- その子の夢を応援したくなった。知っていることがあれば教えてあげたい。
- ドリームマップの紙の使い方が上手かった。
- みんな自分の特技を活かしてそれぞれの夢を持っているんだなと思った。
- 人それぞれだから夢も違って良かった。
- 自信が持てた。自分が夢を持っていいことだと思った。

【高校生】

- 具体的なプランが立っている人が多かった。
- 男子はなんだか現実的な人が多かった。
- もっと1人ずつの発表を聞きたかった。
- 一人ひとりに素敵な夢があって嬉しくなった。
- 新たな発見ができた
- 具体的に発表していてびっくりした。
- 話している友達の顔はとてもよかった。
- 発表を聞いて頑張っていることがひしひしと感じた。
- 一人ひとり違う世界があってその世界と一緒に感じられてとてもよかった。
- 似たような夢があっても一人ひとり中身は違った。

Q.自分の夢を実現させるために、今日何ができますか？

【小学生】

- 勉強
- 教科書をきちんと読む。
- お父さん、お母さんに話す。
- ドリームマップを部屋に貼る。
- もっとパティシエのことを勉強する。
- 今日から自分で、英語の勉強をする。
- レゴブロックを使って何かをつくる。
- ちょっとの時間でもいいから勉強する。
- 投げるフォームをチェックする。
- 本などでどんな花があるかを調べる。
- 料理のことを本で調べる。
- アナウンサーの良い話し方を見つける。
- 医学の本を読んだり「ナースのお仕事」をみて勉強する。
- ピアノを弾きながら先生になったつもりを想像する。
- いいことを思い付いたら、責任をとって即行動する。
- 声を出して本を読んでもみる。
- もっと自分の夢を膨らます。
- 学校の先生について調べる。
- 勉強。
- 詩を書いてみる。自分がしている歌詞を暗記する。
- 自分の目標について振り返る。
- どんなデザインが人気ができるか雑誌でチェック。
- 今書いている漫画の下書きを終わらす。
- 妹やいとこの世話をする。

- ドリームマップを完成させる。
- 生き物を大切に作る。

【中学生】

- 帰り道やテレビに出ている人の服を見る。
- 絵をいっぱい描く。
- 野球を一生懸命やる。
- 料理の手伝いをする。
- 今日からもっと人に優しくする。
- 家の手伝いをする。
- ファッション雑誌を読む。
- 体力をつけるためにしっかりご飯を食べる。
- ゲームクリエイターについて調べる。
- 宿題など当たり前の事をしっかりして一日を終える。
- 明るく笑顔でいるようにする。
- もっと福祉について調べる。
- 部活で沢山シュートをする。
- 母の料理を手伝う。
- パソコンの初歩から勉強する。
- とにかく絵を描きまくる。
- 素振り200回。
- みんな(家族)に話す。
- 絵の勉強をする。
- とにかくピアノとギター練習。
- 将来の夢を叶えたいと強く念じる。
- デッサンをする。
- 何ヶ国語あるか調べる。
- ドリームマップを完成させる。
- パソコンでウェディングドレスを調べる。
- 部活を頑張り、無理しない。
- 打撃フォームの悪い所を探す。
- 今日したことを無駄にしないように覚えておく。
- 小さな子と接する。
- ドリームマップをちゃんと見る。
- 今日の事を振り返る。
- 聖書を読む。
- 練習、今日の授業を振り返る。
- 15分のクロッキー & デッサン
- ラジオから流れる英語を聞き取ってみる。

- 有名な企業を調べる。
- 今日の部活を頑張る。
- クラブチームの練習があるので頑張る。
- 雑誌をみながら勉強。
- 親から少しずつ看護の話聞く。

【高校生】

- ヘルパーの学校に行くので少しずつ勉強。
- 自分はなれると思う。
- ベースを弾く。
- もう一度具体的にまとめる。
- 何気ないことにも興味をもつ。
- 発声練習・演技の勉強
- 洋楽を聴いたり、英文に目を通す。
- まずもう一度夢について考えてみる。
- CADの種類は何があるのか調べてみる。
- 歌を歌う。筋力トレーニングをする。

◆ ドリームマップの活用案

授業により完成したドリームマップの活用法について、見学した先生方よりヒアリングした意見を以下に纏める。

- 卒業式にて体育館に展示する
- 教室内、廊下に展示する。
- 卒業文集に載せる
- 学年合同で発表会をする
- 進路相談に活用する
- 授業参観日にて発表会を実施する
- 英会話(スピーチ)の題材として利用する

6 授業風景写真



7 授業風景写真



8 子どもたちの夢

ドリームマップの授業中に将来像としてタイトルにした例を以下に紹介する。 実記述

【小学生】

- みんなの心に残る旅行にするバスガイド。
- 歴史に残るプロ野球選手。
- おもちゃをつくる人。
- みんなに応援してもらえるバレーボール選手。
- ディズニーランドで自分がデザインをした制服を着て通訳ができる看護師。
- いろんな星を旅する宇宙飛行士。
- イチロー選手を超えるプロ野球選手。
- ファーストフード店のオーナー。
- みんなを笑顔にするおいしいお店をつくる。
- どんな病気でも治せる薬剤師。
- お客さんが安心して乗れる電車の運転手。
- みんなに尊敬される小学校の先生。
- 幼稚園の子達がいつも会いたいと思う先生。
- みんなを幸せにするパティシエ。
- 手塚治虫のように子供から大人にまで憧れられる漫画家。
- どんどん売れる釣具屋の店長。
- 動物をいっぱい助けられる動物保護士。
- 人が元気になれる歌を歌う歌手。
- 有名な車の設計士。
- 明るい家の設計士。
- 役立つロボットを作る設計士。

【中学生】

- 世界的権威のある、ロボット研究家・発明家。
- その人を幸せにできるメイクアーティスト。
- 暮らしの安全を守る設計士。
- 子供と気軽に話せる学校の先生。
- おじいさん、おばあさんが仲の良い老人ホームの介護士。
- WBC の監督をつとめる日本代表の監督。
- 世界を相手に活躍する自動車整備士。
- 命を救える医師。
- 選手の体調管理を全て把握しているメディカルトレーナー。
- いろんなものを発見、発掘する考古学者。

- イタリア語がペラペラのミラノの日本人学校の教師。
- どんな火事でも諦めない消防士。
- 患者さんを笑顔にする臨床医。
- 子供たちに夢と希望を与えられる保育師。
- 3億稼ぐ野球選手。
- 何語でもしゃべれる通訳。
- 地球環境を考えた車のエンジニア。
- 花嫁を人生で最高の1日にしてあげるウエディングプランナー。
- ビルゲイツより儲けるゲームプログラマー。
- 動物の気持ちがわかるトリマー。
- みんなを楽しませますお笑い芸人のマネージャー。

9 事業の反響

実施における、取材やメディアからの反響を以下に纏める。

◆ 【新聞】

2005/4/23	中部経済新聞 3面(名古屋経済欄)	独自の起業家教育プログラム
2005/7/10	岩手日日新聞	「夢へ向ってどう進む? 描いた道筋を発表」
2005/10//15	読売新聞(地域(福島)欄)	「ポスターに夢描く 会津若松・城北小」
2005/10/22	読売新聞(地域欄)	「将来の自分はどんなふう」
2005/10/25	中日新聞(なごや東版)	「瀬戸の幡山東小 ドリームマップ作り」
2005/10/27	朝日新聞	「かなえよう 夢の地図 津の小中8校 自己分析、級友に発表」
2005/11/08	読売新聞	「夢を実現する地図 将来へ行動計画描く 米沢・南原中」
2005/11/23	山陽新聞(香川版)	「夢 実現させよう～宇田津の2小学校 民間講師招き公開授業」
2005/11/24	四国新聞	「将来の夢見えた!～宇田津小、北小でドリームマップ授業～」
2005/12/07	中部経済新聞	「エ・ム・ズ 独自プログラム展開」
2006/1/27	中日ホームニュース	「将来の夢、明確な青写真に」
2006/2/8	読売新聞	「将来の夢 描き出す」(仙台市立太白小学校)

◆ 【TV】

2005/12/13	CBC テレビ	～新しい授業のあり方を探る 先生たちの挑戦～
2006/2/7	NHK 仙台	～小学生が“将来の夢マップ”作り～
2006/2/7	ミヤギテレビ	～「夢の地図」づくり～
2006/2/7	東北放送	～“起業家”を目指そう～

10 今後の課題

◆ 事前準備の統一について

✓ 準備

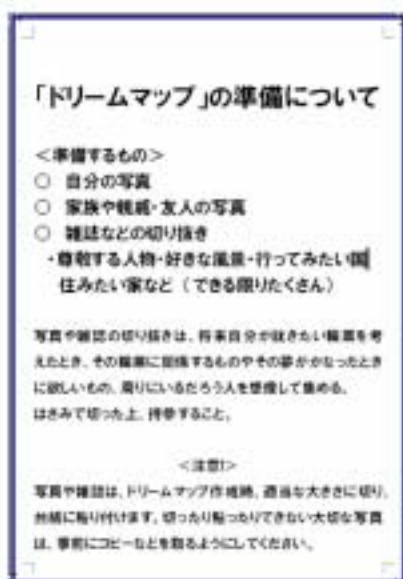
ドリームマップ作成の準備として、参加児童・生徒に以下のものを掲示し、当日の準備物を持参するよう告知をお願いした。

掲示・回覧してもらうもの

【ドリームマップサンプル】 実物大のサンプル（当社作成）と、前年度実施作品のカラーコピー集



【告知案内文例】



各自持参してもらうもの

【写真】 自分のスナップ写真（笑顔のものでできる限り大きいもの） 家族や
親戚・友人の写真

【雑誌切り抜き】 好きな人・もの・風景など（できる限りたくさん）

【文房具】 文房具（カラーペン・はさみ・のり）

写真や雑誌の切り抜きは、将来自分が就きたい職業を考えたとき、その職業に関係するものやその夢がかなったときに欲しいもの、周りに居るだろう人を想像して集める。

はさみで切り抜いて持参すること。

はさみ、のりは必ず各自用意するよう告知してもらう

✓ 課題

準備案内と教材を発送後、電話にて不明点をヒアリングし、実施内容説明と準備フォローを徹底したため、昨年度に比べ、ドリームマップ作成に必要な切り抜き類の準備は改善されたが、一部の児童・生徒にはさみ、のり、ペンなどの文房具を持参しないことがあり、ドリームマップの進行の遅れやドリームマップの完成水準に影響が大きかった。ドリームマップは各個人毎に作成する為、作業の遅れが各児童・生徒のあせりや不安を生じさせてしまう。その結果、授業への参加意識を低下させる結果となる場合があった。特にクラス全体に影響の大きな児童・生徒の場合、クラス全体への参加意識に影響が出てしまうケースが見られた。

✓ 解決策

上記課題に対する解決策として以下の3点を挙げる

文房具は必ず持参してもらうよう、お知らせを徹底する

当社から送付する教材類の中に、はさみとのりを3部/クラスずつ同梱する

◆ 実施日数について

✓ 複数回（3回）での実施

愛知県緑丘商業高校において、通常6時限にて行っているカリキュラムを3回に分けて実施した。これまでの終日を割いての導入を条件とした場合、学校現場において大幅な時間割変更（既存）を要求することとなる。特に科目毎に担当講師が決められている高校において、年度途中で時間割を変更するのは日程調整の負担が大きいため、複数回に分けて実施した。

✓ 効果

2時限連続の教科（総合実践）に導入するため、時間割変更が不要であった。

ドリームマップ作成素材（切り抜きなど）の準備を翌週までの課題提示と出来るため、

生徒の将来を考える時間と素材を準備する時間に余裕ができた。

あわせて、ドリームマップ作成作業においても、作業速度の個人差を、発表日（3回目）までの課題提示と出来るため、完成度と生徒本人の満足度の高い作品となった。

✓ 課題

学校への訪問回数が増えることによる、費用負担。

回数毎に講師が変わる場合の、情報伝達。

✓ 対策

訪問回数を最小限にするため、同一学年同時進行ではなく、回数をシフトした方法にする。

遠隔地に関しては、出来る限り複数校が同時期に実施できるよう日程調整する。

1人の講師が同じクラスを担当できるよう、早めに日程調整する。講師グループウェア活用により情報共有を図る。

11 教員向け研修

教育現場における自立定着を図る目的に、「ドリームマップ教員向け研修」を実施した。教員の皆様がドリームマップ授業を円滑・効果的に実施できるようコーチングをベースにした対話法と、ドリームマップ作成実習を経験することで、ドリームマップのテーマである「夢を描く・信じる・伝える」を実感してもらおうのを狙いとした。

◆ 実施概要

日 数：2日間（6時間/日）

時 間：10：00～17：00

内 容：コーチング基礎・ドリームマップ作成・授業の進行法・教材の活用方法

会 場：指定場所

講 師：株式会社エ・ム・ズ ドリームマップ認定トレーナー

実施時期：夏休み期間および冬休み期間

◆ 実施実績

自治体名		参加人数
花巻市教育委員会	1日目	7
	2日目	7
宇多津町教育委員会	1日目	40
	2日目	47
瀬戸市教育委員会事務局	1日目	47
	2日目	10
会津若松市教育委員会	1日目	30
	2日目	30
和泉市教育委員会	1日目	18
	2日目	18
愛知県教育委員会	1日目	12
	2日目	12
瀬戸市立西陵小学校	1日目	25
	2日目	25

1日目(コーチング内容)2日目(ドリームマップ作成)

12 教員向け研修写真



◆ 先生方からの感想

Q ドリームマップを発表してどんな気持ちでしたか？

- もっと沢山のの人に聞いてもらいたいと思う気持ちが出てきた。
- 夢を真剣に聞いてくれることで、夢の実現に責任を持たなければならないという意志も生じてくると思った。
- 童心に戻り、わくわくしながら取り組むことができた。
- 口に出すことでより具体的に目標をイメージできると感じた。
- 自分のことをあまり知らない自分に気づくことができた。
- 現実から離れて生き生きした気がした。
- 自分の夢に照れがあったが、話してみるととんでもない夢だとは思わなくなった。
- 自分の目標に向かって努力しようとする気が沸いた。
- 夢を聞いてもらうことは気持ちがいい。
- 自分の夢が叶うような気がした。
- とてもすがすがしい気分になりました。
- 漠然としていたものがはっきりとしてきた。
- 自分自身にはまだまだ大きな可能性がある、自分自身を伸ばしていこうと思った。
- 皆の前で宣言(希望ではなく言い切った)したことで勇気や、強い意志を持つことができました。
- 話していることが自分への確認のように感じました。
- みんなの前で発表することによって、自分の夢について、考え、思いの強さを感じることができた。

Q 他の先生の話聞いてどんな気持ちでしたか？

- 様々な価値観を知ることができて嬉しかった。
- 応援してあげたいと思った。
- 魅力ある人間性に感動した。
- 分からない部分を知ること、親密になれた気がする。
- 正直、感動した。
- 夢を話している時の顔がとってもイキイキしている。
- 具体的なイメージを持つことが大事。
- 自分の夢を堂々と語る姿はカッコいいと思った。
- 夢を語るときの顔は明るい。
- あまり接点のない先生達の内面を知ることができて、とても親しみを受けることができた。
- 自分の夢はささやかだと思ったが、自分では満足している。
- 互いを理解する上で、とても役立つこと。
- みんな自分にぴったりの夢をみつけている。
- 知っている先生でも新たな一面を知り、距離が近づいた。

- それぞれの夢がその人の内面を表していて親近感が持てた。
- 同じ仕事なのに、こんなにもいろいろな考えや生き方があるのかと驚きました。
- 「夢 = 考え方」のように感じた。
- より深く知ることができた。
- 話すことが仕事であるが、明確に話すことの難しさを痛感した。
- 人に話す夢と話さない、話したくない夢があるのではないかと感じた。

Q ドリームマップ研修を受けてみてどんなことが大切だと思いましたか？

- 相手も自分も真剣に見つめて、お互いの想いを共有することの楽しさを改めて感じました。夢を描く為には今の自分を知ることが大切だと思った。
- 共感しあえる相手だと、とても安心してできる。
- 自分をよく見つめ、知ることができる。
- 自分も他も肯定的にみれるようになると思う。相手をわかろうとする気持ち、待ってあげる気持ちも大切。
- 自分の心が開かないと相手の心を開くことはできない。
- 子供たちに夢を持ち続けることを促すことができる素晴らしい手法。
- 自尊感情が育つ機会。
- リフレッシュした気分。
- 保護者にもぜひ聞いて欲しい。
- 子供たちに夢を持たせることで荒れる子供たちを少なくできるのではないかと思った。
- 自尊感情を教育者として育てることが。
- イメージさせること。
- 聴き上手になること。
- どれだけ自己開示をできる環境にあるか。
- その後の指導をいかに行き、夢に向けてやる気、努力を引き起こすかが重要。
- 夢や希望を持たせること。
- 大人(親)が変わらなくては…。
- 自分自身を見つめること。
- 必ず、そうなると思いついでいくこと。
- 夢を具体化し、口に出し、常に持ち続けること。
- 目当てを持ってそれに対しての行動をすること。
- 一人ひとりの夢をみんなで認め合うこと。
- 他の人の意見を聞くことが思う以上に自分にとって大きな影響を与えてくれること。
- 目標や目的を具体的にイメージすること。それを出力して目に見える形にすること。
- 細かく段階を踏んで進めていけ、全体の雰囲気づくりができること。
- 生きる勇気が益々でてきた。
- 考え方一つで、今の自分が変わる事がわかりました。
- いくつになっても夢を持つこと、そしてそれに向けて努力を楽しむこと。

- 夢は秘めておかずどんどん口に出すこと。
- 行動すること。
- 心の持ち方ひとつであり、事実を前向きに捉えること。
- いくつかの視点を決め、より具体的な目標設定をすること。
- 自分を肯定していくこと。
- プラス思考でいること。
- 自分の中に眠っていた思いがはっきりしてきた。コミュニケーションが一番大切。
- 自分の夢を具体的にすること。口に出すこと。それによって明日からできることが少しずつ見えてきた。
- 将来(数年後)のビジョンを持って生活すること。
- 具体的に考えていたら実現可能かも、と思えるようになった。
- まず自分を知ること。
- 他を受け入れること。
- 大人になっても夢を持つのは、素敵なことだと思ったこと。
- 教師の世界ではない研修が受け入れられて有意義だった。
- 具体的に常に意識すること。
- なりたい自分をイメージすることは大切だと思った。
- 夢を見つけるためにもドリームマップ作成は有効かもしれません。

◆ 教員研修について所感と課題

研修参加教員の皆さんの感想から、ドリームマップカリキュラムの狙いと効果は強く理解していただけたと感じる。しかしながら、ドリームマップ授業の自立定着を狙いとして実施しながら、実際に行われたのは、授業の導入を予定する学校の先生方への事前実施となったため、”ドリームマップ授業の理解”を促す要素が強くなった。今後の課題として、当初の目的である”現場の先生が授業を実施できる”ことを達成するため、平成 18 年度の提案事項として以下の取り組みを検討する。

- ・授業導入済みの学校へ限定して教員研修を実施する(夏休み利用))
- ・初回導入の学校へは実施後の冬休みおよび春休み期間に研修を実施する
- ・日程調整の難しい自治体、学校へ教員向け学習教材を提供できるようにする

13 ドリームマップ書籍出版について

ドリームマップ授業を紹介する、以下の書籍を出版した。来年度以降の起業家教育促進事業への周知と理解を期待したい。



書籍名：子どもの“生きる力”をはぐくむコーチング
ドリームマップ

内 容：第1章 ドリームマップが子どもの将来をつくる！
第2章 親、教師があらかじめ知っておきたいこと
第3章 さあ、子どもと一緒にドリームマップをつくろう
第4章 子どもの夢を引き出し、才能を伸ばすコーチングのヒント
第5章 子どもの心がすくすく育つ魔法の言葉
第6章 ドリームマップがはぐくむ「人生に必要な七つの力」

14 所感とまとめ

平成 16 年度に引き続き、「夢を描く・信じる・伝える」というテーマから、将来を担う子どもたちの主体的で積極的な職業選択や将来設計の意識を高めることに主眼を置いてドリームマップの授業を実施してきた。接した子どもたちの夢を描く潜在的能力は非常に強く、授業中の自己対話や講師からの言葉かけ、友人とのコミュニケーションを通じた自己開示により、自らの可能性を拡大する感覚を体験できたのではと、子どもたちの反応やアンケート結果より確信している。子どもたちがドリームマップを通じて得た夢を描く楽しさを、自らの将来を自ら見出す力に発展継続させる為、継続実施と周囲の環境が非常に大切である。自立定着に向けて、教育現場での定期的な実施を望むとともに、大人たちの不用意な否定的発言により子どもたちの可能性を狭くしたり、発想の飛躍を妨げになることを懸念して止まない。

心の自立、経済的な自立を想像しながら自らの将来に期待と希望を持てる、創造的でチャレンジングな人材を育成し、起業家マインド溢れる精神力を持った若者の輩出に、今後も様々な機会を通じ貢献していきたいと思う。